

研修名	第2回 精神障害者地域移行研修
講師	○コーディネーター 西南女学院大学 今村浩司 准教授 ○事例提供者 ・ピアサポーター ・八幡大蔵病院 安田誠 氏（精神保健福祉士） ・相談支援事業所「あさの」相談支援専門員 山田あゆみ 氏（精神保健福祉士）
開催日時	平成28年11月14日（金） 18：30～20：30
開催場所	北九州市総合保健福祉センター 2階講堂
参加者数	74名 ・精神科病院等の精神保健福祉士、看護師、作業療法士 等 ・相談支援事業所の相談支援専門員、サービス管理者 等 ・福祉関係の行政職員 等
研修の内容等	<p>精神科病院等の入院者における地域移行を図るため、医療従事者、相談支援事業者、福祉関係の行政職員等を対象に、医療と福祉の連携をテーマとした研修を実施した。</p> <p>事例提供では、精神科病院に約30年入院し、退院後に一人暮らしを始めたピアサポーター、入院中に関わりのあった病院の作業療法士、地域移行支援を行った相談支援専門員から発表がなされた。発表では、ピアサポーターが入院中の病院のスタッフとの関わりを通して退院に向けた意欲を高め、地域移行支援による相談支援専門員との関わりの中で、円滑に地域の生活を始めた内容の話がなされた。</p> <p>また、「医療機関」、「相談支援事業所」、「行政機関」等の他機関によるグループワークを実施し、対象者の不調のサインや対処法を確認し合うワークを行った。</p>
参加者の声	 <ul style="list-style-type: none"> ・今日の研修はよい勉強となりました。ありがとうございました。 ・他機関の関係者とよい交流をする機会となりました。 ・地域で「健康に暮らすためのパスポート」を実際にグループワークの中で作成してみ、その必要性を感じました。今後活用できたらと思いました。 ・クライシスプランの作成は医療機関だけでも、地域の事業所だけでも作成が難しいので、関係機関が連携しながら本人と作成していくことが大切と感じました。 ・今後もこのような研修を開催してほしいと思いました。